

令和元年度
第1回朝日地域振興懇談会
会議録（概要）

期日：令和元年12月12日（木）

場所：朝日庁舎 大会議室

令和元年度 第1回 朝日地域振興懇談会会議録 (概要)

- 日 時 : 令和元年12月12日(木) 13時30分から15時30分まで
- 会 場 : 朝日庁舎 大会議室
- 出席委員 : 遠藤初男、亀井栄一、小野寺太、佐藤清、難波久男、渡部智也、難波智明、渡部巖、
帯刀とく子、渡部昌樹、清野一女、工藤悦夫、菅原明美、難波金一 計14名
- 欠席委員 : 清野定信
- 市側出席職員
【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、
総務企画課職員
【本所】企画部地域振興課職員 計7名

一次 第一

1. 開 会

2. あいさつ

朝日庁舎支所長あいさつ
委員へ委嘱状の交付

3. 委員紹介

4. 会長・副会長の選出

5. 協議

(1) 鶴岡市第2次総合計画について 資料1 *冊子版配布資料

(2) 朝日地域振興計画及び地域まちづくり未来事業について 資料2

(3) その他

6. その他

7. 閉 会

1. 開 会 13時30分 (進行 総務企画課長)

2. あいさつ

朝日庁舎支所長

皆様には、朝日地域振興懇談会の委員をお引き受け頂きまして、厚く御礼申し上げます。

本日はご多忙中にもかかわらず、多くの委員の皆さまよりご出席を賜りまして誠に有難うございます。この地域振興懇談会でございますが、朝日地域の振興策につきまして、幅広い視点からの意見を伺うことにより、今後の地域の活性化策に反映させるため設置するものでありますので、委員の皆様からは、それぞれのお立場からの率直なご意見を頂ければ幸いです。

なお、本日は、第1回の地域振興懇談会となりますので、本市の第二次総合計画及び朝日地域振興計画等の概要に加えまして、今年度における事業の進捗状況と、来年度の計画等につきましてご説明を申し上げ、その後に地域課題や地域活性化全般に関する事項について、皆さまからのご意見を頂戴したいと考えております。

委員の皆様から頂いたご意見を今後の施策に反映させることで、地域の課題解決に向け一歩ずつ前進して参りたいと考えておりますので、皆様には朝日地域の振興・発展のため、どうぞお力添えをいただきますようによろしくお願い申し上げます。甚だ簡単ではありますが挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員紹介 (総務企画課長が名簿番号順に紹介)

4. 会長・副会長の選出

要綱上委員の互選により選出となっているが、委員より事務局一任の意見あり。

事務局より会長に工藤悦夫委員、副会長に難波金一委員と提案され、異議なく承認される。

会長あいさつ

ただいま先輩方の前で会長という大役を仰せつかりまして大変恐縮に思っております。皆さんの協力を得て任期の二年間がんばりたいと思います。よろしく申し上げます。

副会長あいさつ

この地域懇談会には初めて参加ですが、このような大役を仰せつかりまして大変恐縮をしているところです。会長と協力しながらこの会がより朝日地域を盛り上げるよい懇談の場になるように努めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

5. 協 議

会長 それでは協議 (1) (2) について事務局より一括して説明をお願いします。

(事務局説明)

会長 ただ今事務局から説明がありました。この資料も皆さんには事前に配布されており、それぞれ一読されてきたかと思っております。皆様から質問、意見なんでも結構です

ので発言いただきたいと思います。皆さんいかがでしょうか。

委員

事前に計画を見せていただき、非常に苦勞されて作られているなと思ました。配慮されている事を充分理解しつつ普段感じていることや統計的な資料からも思う事なのですが、一つは地域特性というものをどう理解するかという事です。今ここは雪が降っていますが櫛引の板井川あたりだと雪はありません。従って鶴岡の市街地では雪があるなどということは想像もつかない状況だと思います。そのため本所にいると見えない部分がたくさんあるため、地域ならではの特性、特徴を理解していないと実施上予算などの面でしわ寄せがくるのだらうと思います。先ほどの説明にもあったとおりこの地域では高齢化がどんどん進んでおります。ただ老人がたくさんいるという訳でなく、家族構成もかつては世帯員が6、7人だったのが例えば大鳥地区でいうと1.8人と2人もいないという状況です。その中で、住みたくても住めないという状況に来ているのではないかと考えたときに、杓子定規にいかない所もたくさんあるので充分配慮してほしいと思います。行政経費ですからもちろん節約も必要ですが、配慮したうえでの節約をすべきだと思いますので、ぜひ職員の方からも机上だけでなく現場を見て施策の実施にあたってほしいと思います。

二つ目ですが、この計画はすでに実施年度に入っている訳ですが鶴岡市では現在文化ミーティングが行われており、KJ法で意見を聞く中で観光や産業、福祉、コミュニティ、食文化もすべて関係してくるという事で取り組みを進められており、いわゆる総合行政という形を進めるべきという意見が出されています。そうした中、それぞれの分野で計画はあると思いますが、いざ実施となると縦割り行政となるため、それぞれの分野の横のつながりが求められると思います。ぜひこの計画も総合行政の中で進める時に横の展開をしてほしいと思います。

三つ目ですが、鶴岡市の行革の委員会の中で朝日庁舎を改築し2024年度にオープンさせるとありました。規模や機能が住民にどのように明らかになっているのか、地域住民の意見はどのように反映されているのか疑問に思いました。やはり機能が明確にならないと規模や中身が決まらないでしょうし、また支所の在り方がどのように検討されているのかと思います。本所の場合、専門的な職員がいて仕事にあたってはいる訳ですが、支所の場合何課にもわたる仕事を一係がやっている場合がたくさんあるかと思いますが。そうすると専門性に欠ける部分が出るのも当然ですが、本所、庁舎の機能の住み分け、在り方をどうするのが明確に見えないため、もっと公表していくべきではないかと思います。

総務企画課長

一つ目の地域特性については、雪の問題、市街地から遠いということについて、地域街づくり未来事業の計画策定に際して、地域からも委員を選出した全市の検討会議を行っております。その中で、朝日庁舎としては地域の人口減少を考えたときに全市で一つの制度という事についてやむを得ないと認めつつも、遠隔地であることにより通学や医療といった生活費が増嵩するとか、雪の影響により労力や負担が大きくなることをいづらかでも緩和させたいということで未来事業を計画したいとお話ししております。高校生通学支援事業や現在制度設計中ですが玄関前除雪事業

総務企画課長

自治会連協会長や自治会長はいろいろな会議の委員に充て職になっていることも多く、いろいろな件で自治会からの選任をお願いすることもありご苦勞をおかけしておりますが、ご理解のうえご協力をお願いしたいと思います。

消防に関しては昨年度の住民懇談会の際、分団などの再編という話題も出まして、こちらは消防本部警防課の担当となっておりいろいろやり取りをしておりますが、現段階ではこれ以上のことは申し上げる事はできない状況です。

委員

朝日には山林が多いということで、朝日中や大網の交流センター、羽黒庁舎も木材をふんだんに利用した木造建築と聞いています。これから建設される朝日庁舎もぜひ木造で検討されてはどうかと思います。最近のニュースでは高層建築にもこれから木材が使われるようになるという話題もありましたので、森林や木材、木造建築に関心を持ってもらえればと思います。

総合計画の95ページに木材生産の効率化の推進の、主な施策①に空中写真やレーザー測量などの新しい手法を取り入れることにより、効率的に森林境界の明確化を進めます、とある点について。これは自分の家の山がどこからどこまでなのか私も分かりませんし、知らないために関心がないとなってしまうと思うので、具体的にどのように進めるのか教えてもらいたいです。

産業建設課長

森林境界ですが、朝日地域については昭和時代に地籍調査を行っており森林境界も現地立ち合いのもとに今の公図がおこされています。それでも現地では境界が分かりづらいとか、代替わりにより自分の家の山の境界が分からなくなっているというのが現状です。一方、旧鶴岡市内では昨年度から地籍調査事業を始めたばかりです。そのため、いわゆる字切図をもとに公図として扱っており朝日地域とは比較にならないほど森林境界が不明確な状況です。地籍調査事業を森林地域まで実施できればよいのですが経費もかかることから、ある程度簡易的な方法という事でヘリコプターや飛行機、ドローン等により航空写真を撮ります。林層の違いから境界もある程度推定できますし、もともと境界も尾根などを基準にしていることも多いことから、尾根の構造なども含めて森林境界を明確にするものです。本所の農山漁村振興課が一括で行う予定で進めています。この事業実施により、どの山が誰のものかわかるので、これまで単独で森林組合などに頼んで間伐を行っていたものが広範囲の所有者が一括で依頼することにより経費が抑えられるなど、団地化による山林整備を進めたいと考えているものです。

支所長

庁舎構造のお話がありましたが、現在のところ消防分署と合築する方向で検討しており、話題に上がりました羽黒庁舎については消防分署部分を鉄筋コンクリート構造、庁舎部分を木造により整備されています。朝日庁舎も同様の構造となる見込みで進めております。

委員

産直についてですが、高齢化に伴い会員の減少、生産力の低下などいろいろな問題を抱えています。また施設も老朽化が進んでいることから、今年新しい施設建築

に向けて、複合施設化も見据えながら検討されているところです。引き続きよろしくをお願いします。

産業建設課長

産直施設については老朽化がきっかけですが、朝日の農林業、観光業等を今後どうしていこうか考えたときに委員からありましたように中核的、複合的な施設を検討しています。今年2回検討委員会を開催し、あと2回程度お集まりいただく予定でおりますが、検討の中で箱モノを建ててからどうやって使おうか考えるのはやめましようという形で進めています。今朝日地域に必要なのは何か、課題は何か、未来に残したい地域の魅力は何かを掘り起こし、そのために何をしなければならないのか、そして施設に求められる機能と役割について今話し合っているところです。先日の委員会の中で印象的だったのが、何をやるにもマンパワーが大事という意見でした。人を育てていかないと施設があっても難しいという意見もあり、今後の計画づくりに生かしたいと思います。

委員

高校生通学支援事業が今年から始まったということで、非常にいい事業だと思いますし、父兄としてもありがたく感じています。交通の関係で、高齢者による自動車事故の話題をテレビ等でもよく見かけますが、朝日地域は地域事情により免許を返納する人はかなり少ないと思います。免許返納した場合に市から補助があるようですが、市街地と朝日のような市街地から離れ交通の不便な地域では、事情が異なると思っています。そのため、補助制度の内容市街地から離れた地域にはより手厚くしないと返納が進まないため、不便な地域に対して配慮するよう検討いただければと思います。

総務企画課長

手元に詳細な資料はありませんが、朝日地域では免許返納は少ないだろうと思います。朝日地域は通院や買い物だけでなく農作業等もあって返納に踏み切れないものと思います。委員からありました補助については、返納時にタクシー券またはバスの回数券を1万円分、一度限り補助するという制度で、防災安全課が担当しております。ただ、交通安全の会議の中で朝日の場合1万円分タクシー券をもらっても1回医者に行けばなくなってしまうので、朝日の人には10万円支給してほしいといった意見もありました。おっしゃるとおり一律の補助が公平なのか個人の負担を平準化するよう支援するのが公平なのか、とよく議論されるところですが、事例によって異なるものもあるかと思えます。今回の件については、支援額が上乗せされれば返納が進むといった効果が認められるものであれば要望していきたいと考えています。

委員

民生委員の状況について若干報告したいと思います。各自治会から推薦いただいて12月1日に中央公民館で国からの委嘱状を全員もらいました。私たちは弱者を相手にして、少子高齢化が進む集落をどうやって立て直していくかということが一番の課題です。また、自分の仕事をしながら委員の活動を行うため、なかなか集まらない方もいます。そのような方をどうやって参加させるかということも大きな問題

です。様々な部会があるため委員の参加がとても重要であり、地域で起きた出来事を地域全体の委員で情報共有するときに、欠席されると協議が進まず助け合っていないというものがなくなってしまいます。活動には委員全員の協力が必要であり、地域から孤独死を出さないように活動をしたいと思っています。

委員

毎年庁舎にはPTA要望を提出しておりましたが、今年の冬から中学生の登下校用にスクールバスを運行してもらうことになり、ありがたく思います。ただ、利用できる生徒がいて若干中学校に近い集落に住む生徒が乗れないという状況で、バスの席が空いているのであれば乗せてやれないかという意見もあり、今後検討いただければと思います。また、高校生の通学支援についても大変ありがたいと思います。朝日地域の子供の数はどんどん少なくなっていることから、朝日に残る子供たちにいろいろな面で支援をお願いしたいと思っています。

先ほどから地域特性という話もあり、自然がたくさんあるのでよいと思いきや半面マイナスな面もたくさんあるわけですが、地域に住む我々一人一人がプラスの考え方を持たないといけないと思います。これまで転出があまり見られなかった集落から最近になって転出世帯が増えているなど、非常に考えさせられます。地域の定住を考えたときに条件が不利な方への支援も必要ですが、最近よく目にする外国人観光客の誘客も見逃せないと思います。もちろん全市的にも取り組まれていると思いますが、朝日地域としても例えばスキー場など観光資源がたくさんあるので、もっと外国人観光客から来てもらえるよう、情報発信などを推進していただきたいと思います。スキー場も施設老朽化が進みスキー場の在り方も検討されていると思いますが、湯殿山スキー場で活動する地元出身のプロスキーヤーなどもSNSで積極的に情報発信していますので、鶴岡市でもさらに力を入れてもらいたいと思います。

産業建設課長

観光と外国人誘客のご意見について、まずスキー場についてですがスキー場の検討委員会を立ち上げ、今年3回開催しました。ご存じのとおり現在は第2リフトを廃止していますが、廃止直後は早く新しい第2リフトを作ってくれという意見が大半でした。ただ、第2リフトを同じように作ってそれでよいのか、夏場に現地も見ながら話したところ斜面に対する要望なども出てきています。そのため、今後スキー場の利用を長いスパンで考えたときに、より多くの方から来てもらうためにどうすべきか根本的な所についても検討しています。現在のリフトコースを単に架け替えるのであれば立木の伐採は発生しませんが、コースを変えるとなると国立公園内にあることから環境省の手続きも発生するため、それなりの時間を要することが考えられます。リフトコースについても完成後に手戻りの無いよう会議の中で充分確認しながら進めたいと思います。

外国人の誘客についてはインバウンドと盛んと言われており全市の取り組みはもちろん進めておりますが朝日地域としての取り組みも行っています。朝日地域には三体の上人様がいらっしゃるということで、朝日地域を訪れる外国人の方は即身仏に興味を持たれているように感じているようです。今年度夏季観光バスを三カ月運行しましたが、ホームページに案内を掲載する際に大網方面を走る七ツ滝線のペー

ジは英語版のページも作成しています。また、観光客が分かりやすいよう、バスを乗り継ぐ観光モデルコースも提案しています。バスは事前予約も受け付けていますが、9月15日に飛び込みで外国人の方が2名乗車されています。これまで歩いている人を時折見かけましたが、バスを使って観光できる事をうまく宣伝していければ今後発展させていけるものと思います。

委員

農協女性部の観点で意見させていただきますが、すまいるの調理室をどういう方が年にどのぐらい利用されているのか伺いたいです。女性部でも料理教室など企画して調理室を使用したいと思っても衛生面などでいろいろと制限があります。そこで新しくできた大網地区地域交流センターの調理室を使わせてもらったりしていますが、朝日の中央コミセンにある調理室が使えないのはとても不便に感じています。施設の現状などについて伺いたいです。

総務企画課長

コミセンの担当に確認しますので、少しお待ちください。

委員

交通安全母の会の現状ですが、私が住む熊出上もなかなか母がおらず高齢の方ばかりで役員を引き受けてもらえないという現状です。保健委員などは割と短い周期で回ってくる感じがするのですが、辺りを見回すと施設に入所して今住んでいないとか一人暮らしの方とかが多くなっている現状ですが、なかなか普段交流がないため隣の人の状況も分からないように最近感じます。

庁舎建て替えの話もありましたが、中央コミセンと小学校の間の道路も狭く両側に建物があり除雪がしにくいと聞きましたので、一緒に検討できないものかと思えます。

さきほどすまいるの調理室のお話がありましたが、産業文化まつりの時ぐらしか利用されていないのではと思います。ふっくらにも調理室があるので保健委員会の時に調理を行うときもふっくらを利用されているのかと思いますが手狭なため、やはりすまいるの調理室がもっと使いやすくなれば女性にとってはありがたいと思います。

会長

ちなみにある地区では交通安全母の会はなり手がおらず自然消滅しました。交通安全協会はありますが、母の会はなくなって5年は経っている状況です。

委員

消防団も組織検討委員会という会議を全体で行われています。鶴岡市4方面隊、広域5方面隊と全部で9方面隊あるわけですが、朝日方面隊の現状を見ますと入団者が非常に少なく団員の高齢化が進んでいる状況にあります。検討委員会では9方面隊を長期的には半分にして統合したほうがよいとか、朝日方面隊の4分団を統合するとか意見はありますが、長期的なビジョンは全く打ち出されておられません。ただ、消防団の定員数については実団員数に基づいて修正を図るように動いております。今しばらく住民の皆さまにはたいへんな負担やご心配をかけるかもしれませんが、方面隊としてもよく検討して対応したいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

なお、この計画の予算について一つ質問があります。資料2で今回の取り組みの総額が56,899,000円とございますが、これは鶴岡市全体のものではなくここに記載された1、2、3の部分の予算と理解しています。実施スケジュールを見ると2019年から22年まで、それ以降というものもありますが、この5千万もの予算は19年単年度のものなのか計画全期間にわたってのものなのか、伺います。

なお、5年ほど前に私が自治会長を務めていたころ、農道が土砂崩れに見舞われて産業建設課に道路修繕の相談をしましたところ、市の予算も大変厳しい状況のため難しいと返答された経過があります。現在でも農道は土嚢がつかまれアスファルトが汚れたままという状況にあり、ほかにもぼこぼこに傷んだ道路がたくさんあって直せないでいる中、未来事業の予算措置が果たして大丈夫なのか懸念があります。そちらについても伺いたいです。

総務企画課長

まちづくり未来事業については、市長公約にもあるとおり旧町村で10億円の基金を積み立てて地域独自の事業に充てるということがありました。現在は基金を積み立てながら財政の余剰金が出たときにそれを積み立てながら、基金を取り崩すという形で進めていますので現時点で10億をすぐ使えるということにはなりません。質問の56,899,000円というのは今年度の予算です。これから資料右側の3-1の2,800万を引いてみると、残りもほぼ同額の2,800万となり、今年度の予算編成方針としても各地域のソフト事業で2~3千万という目安で、地域で偏りが無いよう均衡をもって行うようです。ただ3-1のハード事業については別の査定を行うという事で、ソフト事業とは別枠という組み立て方となっております。再来年度以降どうなるかは現段階で申し上げられない状況のため、現状の予算編成方針についてご理解いただければと思います。また地域まちづくり事業については、地域の特色ある事業、地域でやりたい事業ということで予算要求しておりますが、予算全体の中で学校や道路といった全市的に調整が必要なものに関してはこの事業計画に含めない整理をしています。

産業建設課長

ただ今の説明とおり、まちづくり未来事業の中で道路改良や修繕という用途については全市の調整が必要なものとして予算に含めていない状況です。農林道、市道についての担当となりますが、基本的に壊れたものは直すことを前提に予算要求を行っています。修繕のほか道路の拡幅や舗装など、地域の方から要望数は多いのですが、危険度が高いなどより優先されるものから要求している状況です。なお災害が原因で道路や農地が崩れたので直してほしいというお話を良くいただきますが、いつ発生したどんな災害によるものか特定できないことがほとんどです。災害復旧事業の大前提として異常気象によって被災した場合ということがありますので、原因となる異常気象の有無と、日常的に良好な管理が行われているかが判断材料となります。特に朝日の場合の特徴として、水路などに落ち葉や枯れ枝がひっかかり、そこに雨水が流れてあふれて崩れたという事例が多いようです。市道についてはある程度市で行いますが、農林道については基本的に受益者の方で管理していただくということが基本です。受益者により側溝に落ち葉などがたまらないよう良好な状

態を保っていたに被災したという場合はこちらで復旧しますが、昨今は高齢化により維持管理が難しくなっています。そのために中山間直接支払いや多面的機能支払いといったお金を出しております。維持管理に手が回らない時はこのようなお金を使って外注して道路側溝の管理をいただければ被災することは少なくなると考えています。それでも被災した場合は多少負担いただくことはあるかもしれませんが市で災害復旧事業に該当させたいと思います。

委員

婦人の会では、先月の18日に県庁において、市から推薦いただいて山形県の県道づくり感謝状を受けてきました。本当にありがとうございました。婦人の会では落合の消防分署近くの花壇の草むしりを今年は3回行い、いつもきれいに見れてよかったですと感じていますが、会員自体は10数名と非常に少なく新しい会員も増えないため高齢化により作業も大変になってきています。それでも会員の意識は高く毎回ほぼ全員が参加してくれており、代表としてもうれしい限りです。ですが、これからも花壇の管理を続けるのは容易ではなく、花壇自体も婦人の会のものでなく市が地域の環境整備や子供たちのボランティア精神の育成、世代間交流などを目的として花植えが行われているものです。私たちが管理できなくなった時、市としてはあの花壇の管理についてどのようにお考えですか。

総務企画課長

現在の事業については県のマイロード事業で補助金をもらいながら整備をしておりますし、一部産業建設課の予算で花の苗の購入なども行っています。婦人の会の皆さまからも長年がんばっていただいており、こちらとしても子供会育成会などの参加を促し世代間の交流も含めてボランティア研修会として長らくやってきました。現段階ではこの花壇の将来的な管理については検討していない状況です。

委員

現在の組織で管理できなくなったら、子供たちや高校生も参加して行っているボランティア事業はどうなりますか。

総務企画課長

その点についても未整理の状況です。これまでもいろいろな方のボランティアによる善意の活動として継続してきた経過があり、その取り組みから庁舎が主導的に花を植えることについて調整するというところは今のところ検討していない状況です。

委員

スポーツセンターの関連ですが、施設が傷んできて雨漏りがみられるため対処していただきたいです。またスポーツクラブの団員がまだまだ足りません。皆さん忙しいと思いますが、皆さんから積極的に参加いただきたいです。

総務企画課長

スポーツセンターの修繕等については昨年も委員よりご意見いただくとともに、老人クラブからもご要望いただきまして、スポーツセンタートイレの洋式化を進めていただきました。施設管理についてはスポーツ課が所管課となりますが、壊れて長らく使えなかったシャワーについても朝日庁舎小規模修繕事業予算の中で修繕を進めております。また、旧青少年センターのトイレについてもグラウンドやゲート

ボール利用者が使用し改修の要望があったことから、洋式化を進めています。なお、シャワー、旧青少年センタートイレの洋式化については今年度中に完了予定です。

その他、雨漏りなどの状況がみられましたら教えていただきたいと思います。

スポーツクラブの団員数が増えないということでしたが、てくてくウォークやフットサル、また中学校の部活に関してもこれからサンスポーツクラブの体制が変わるとお聞きしており、今後スポーツクラブの役割も重要になってくると考えています。引き続きよろしく申し上げます。

副会長

皆さんの意見にもありましたが、私の子供が高校に通っていた朝日村の時もバス通学に対する補助は多少ありましたが、制限が多く使い勝手の悪いものでした。なんとかならないか検討したこともありましたが、今の計画の中で高校生に平等な支援を行う制度ができ本当に良かったと思います。子供が高校に通うために朝日地域から転居しなければならない世帯もありましたので、定住促進のためのよい施策だと思います。計画をみると産直施設や温泉施設の活用についても記載があり、その施設までの交通の確保がますます重要になるだろうと感じています。現在送迎サービスの試験運行も実施されているようですが、こちらも成果をもとに検討する際、各方面から意見を聞きながらさらに引き続きサービスが強化されるように進めていただければありがたいですし、継続していつてもらいたいと思います。

朝日には地区毎3つのコミセンがあり、地域の拠点施設として、また地域づくりの活動の場として運営していますが、住民に使い勝手の良い施設を目指すことが基本にあると思います。特に東部は新たな拠点施設構想の中で運営され注目されていますが、中央のすまいるについては施設についても先ほど来意見がありました。朝日中央コミセンが中央地区のみならず朝日地域全体の中核施設として、どうこれから存続していくのか。建替えということはまだ先だと思いますが、似たような施設があちこちに点在しているよりも、中央コミセンに行けばその周辺でもだいたい用事を足せるような機能を集約すべきだろうと、私も住民と話す中で意見を伺っており、高齢化が進む地域ではそういうことも大事だろうと思います。

もう一つは地域の中で地域づくりをする人を作らなければならないのですが、コミセンでも新しい人を募集してもなかなか応募がない。簡単な理由で、高卒以下の初任給しかもらえず年次昇給もないため将来性が見えず、なかなか有能な職員を雇用することができないのが一つのネックだと思います。これは自主財源を持たない中央地区の最大の課題であり現在検討中ですが、地域づくりをするという意味では中山間直接支払いや多面的機能支払いの事務作業について各集落から受託すれば、そこで事務費の収入が生まれるのではと考えています。かつ、地域づくりも一緒になってお手伝いできるものと思いますので、このような活動の可否についてもご指導いただきたいと思います。

最後に、農業後継者への支援についてです。市では新規就農者に対してはいろいろな支援策があるようですが、家業としての農業を継ぐという場合の支援は見えてきません。家業を継ぐという事が一番朝日地域では重要なことだと思いますので、会社を定年退職してから継ぐ場合もあれば学校を卒業してすぐ継ぐという人もいる

と思います。そのような人たちにも支援できるような施策を考えていかないと、地域で農業をする人が減ってだんだん大変になっていくだろうと感じています。

産業建設課長

多面的機能支払いそして中山間地域等直接支払いの事務処理については、国、県、市のお金をもらっているのだから目的に沿った使い方をして最低限の報告が必要になってきます。こちらの事務処理が農家の方にとって負担だということだと思いますが、必ずしも受給者である農家が行うというきまりはなく、交付金の中からお金を払って依頼しても問題はありません。そのため、コミセン事務局がその事務を請け負い、収入を得ることも可能だと思いますし、地域の実情に応じご検討いただければと思います。こちらでも各集落で事務処理が大変で止めたいという話をよく聞いております。依頼する場合は経費の課題もありますが、双方が納得する条件で請負が可能であれば、地域内でご検討を進めていただきたいと思います。

跡継ぎの方への補助という事で、朝日地域の課題ということでお話がありました。実は鶴岡市を含め県全体でも課題になっています。新規就農者への補助に対して家業を継ぐ者への補助が薄いのではないかという意見は受けておまして、市全体で検討をしていますが、まだその方向性は見えてきていないという状況です。

総務企画課長

市営バスの現在の運行方法については定時定路線で大鳥線、田麦俣線の2路線を平日2往復している状況で、1便当たりおよそ3、4人の利用をいただいております。平成29年度から現在のような市営バス運行に至るまでには、庄内交通からの路線の短縮等の申し入れを受け、運行方法を検討する段階で定時定路線という方法に決定しました。現在利用拡大協議会で利用者をはじめ沿線の自治会長会の運営委員やコミセン事務局長からも参加いただいて、検討を進める中でぼんぼへの延伸や2便目の帰りのバスの出発時間を少し遅くして市街地やぼんぼでの滞在時間を長くする改善も行っております。また、バスのデマンドに関する要望もいろいろ住民の意見をお聞かせいただき、利用拡大協議会で検討したいと思います。

なお、先ほど別の委員からご質問のあったすまいるの調理室の利用状況についてですが、10月中は産業文化まつりの関係で約一カ月押さえさせていただいております。それ以外の月は学童保育所で月数回、多い月は夏休み期間の7月で11件、その他の月は概ね5件程度の利用があるようです。いろいろな事業や団体での構成やコミセン利用に関しては、別の機会にご相談いただければこちらでも対応したいと思いますのでよろしくお願いします。

会長

最後に私からも大鳥地区の状況を少しお話させていただきたいと思います。昨夜大鳥の山の神という行事があり、マタギの人たちが春にむけてお神酒上げをやった時に、若い人の参加がありました。最近大鳥では移住者が6人ほど来て人口が増えており、その中に大網のお婆さんが作っていた草履の作り方を学んだ方もいて昨夜も参加しました。その時に草履の裏に熊や猪の毛皮をなめして貼って特産品づくりができないかという話も出ました。大鳥のマタギプロジェクトをこれから立ち上げて、熊や猪の毛皮なども活用して若い人たちが地域を盛り上げようというとしてお

り、非常に良いことだと感じています。夫婦で移住してきた人たちは今狩猟だけの免許を取ろうとしています。春の熊狩りには間に合いませんが、大鳥のマタギも高齢で限界かと思っていたところに若い人が入ってきてくれました。住んでいるところは市内でも大鳥の猟友会に入りたいという若い人もいますし、とてもいいことだと思っています。

以上で、協議 (1) と (2) を全て終わりたいと思います。

総務企画課長

工藤会長、ありがとうございました。その他ですが皆さまから何かございますか。ないようであれば閉会のご挨拶を難波副会長にお願いしたいと思います。

副会長

長時間にわたって皆さんからご意見をいただき誠にありがとうございました。大変盛り上がった懇談会になったと思います。これで第1回朝日地域振興懇談会を終わります。

(終了 15時30分)